

【 大和中学校の教育の目的 】

自立 ・ 共生

(主体的に生活を拓き、互いを理解し合い共に生きる地域社会人の育成)

【 大和中学校の教育目標 】

- ・ 自ら考え取り組む生徒
- ・ 自他を思いやり行動する生徒

【 経営方針 】

- 1 「地域が誇れる大和中」を合言葉に、生徒も教職員も共に考え実践する学校づくり
- 2 保護者・地域と共にある学校づくり
- 3 「何のために」を常に考え実践する学校づくり
- 4 職員のチームワークを大切にしたい働きがいのある学校づくり

【 重点と実現にむけた具体的方途 】

自ら考え取り組む生徒	自他を思いやり行動する生徒
<p>【重点①】主体的、対話的で、見方・考え方を広げ深めることができる授業づくり (学習課題の提示がない授業、教師と生徒の一问一答で進む授業、教師が一方向的にまとめる授業ゼロ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 興味ややってみようという気持ちを引き出し、解決の見通しが持てる導入・学習課題の工夫 ○主体的に取り組む話し合い活動の工夫 ・ 定着状況や、見方・考え方の変容を見届ける方法の工夫 	<p>【重点④】自他を大切にし、違いを認め、思いやる心を育てる人権教育、「命の教育」の推進 (いじめゼロ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他を思う心の表れとしての「あいさつ」の啓発 ○「ひまわり宣言」を題材とした生徒集会の実施 ・ 決めつけた見方などいじめの芽となる言動を見逃さず指導の機会とする即時指導 ・ 学級活動、保健体育・家庭科の授業を中心とした学校の教育活動全体を通した「命の教育」の推進
<p>【重点②】自分から取り組み、自己有用感を高めることができる校内、身近な地域でのボランティア活動の奨励 (全生徒が年間少なくとも1つはボランティア活動を行う)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒会を中心としたボランティア活動の充実 (「やまとの日」の実施、地域行事への参加) ○地域と連携したボランティア活動の評価、位置づけ・価値付けの工夫 ※「ボランティア・パスポート」の導入・活用 ・ 地域の自治会、公民館、関係機関、関係団体と連携した活躍機会の創出 <p>【重点③】望ましい集団活動を通して、集団や自己の課題を見つめ解決する学級活動、生徒会活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校行事を核とした個と集団の指導の工夫 ※「キャリア・パスポート」の活用 ・ 年間を4期 (安心・協力ー団結ー挑戦ー自立) に分けた段階的な集団と個の指導の充実 ○自己を見つめ磨く「創自」(掃除) 指導の充実 	

【 職員の共通実践 】

- ・ 生徒に付き、事実とその心の有り様を観て、「位置づけ・価値付け・方向付け」することで、生一人一人の自己有用感・自己肯定感を高める。
- ・ 問題行動等について、報告、連絡、相談により組織で対応する。(チーム大和)
- ・ 自己の働き方を見つめ優先順位を考えて取り組み、心身共に健康で、笑顔で生徒の前に立つ。

【 評価 】

- ・ 全国学力・学習状況調査結果の分析
- ・ 生徒アンケート (生活、授業)
- ・ キャリア・パスポートの見届けと蓄積
- ・ ボランティア・パスポートの集計
- ・ 教育活動についての自校評価アンケート (職員・生徒・保護者)
- 学校協議員による学校関係者評価